

◇平成30年度の取組方針について（校長経営戦略支援予算区担当教育次長執行枠）

<経過>

次年度の取組みを検討するにあたって、臨時の教育行政連絡会を開催。
中学校4校と中学校区代表の小学校4校に参加いただいた。
小学校と中学校単位でまとめた提案をいただき、意見交換を行ったうえ、方針を決定。
小学校中学校ともに取り組んでいくことで了承を得た。

1 英語教育の充実（国際理解教育の推進）

児童生徒の英語力向上と、他国の文化等を知り、自国の文化や地域の特色を理解し発信できる人材を育成するため、外国人留学生等との交流の場や英語の勉強の場を提供をする。
また、小中学校の教職員にも参加してもらうことで、子ども達が興味を持てるような魅力ある授業づくりに活かしてもらうことを考えている。

2 プログラミング教育の推進 及び 理数教育の向上

学校にプログラミング教材等を提供することなどにより、プログラミング体験を通して学びを深めることができるように、児童生徒向け体験会・教職員向け勉強会などを随時実施したいと考えている。
また、体験を重視した授業づくりの推進や観察実験等の充実を図り、子ども達が理数科目に興味を持つきっかけにつながるよう、教員の指導力向上研修や理数科目の体験会についても実施していきたいと考えている。

3 民間事業者を活用した基礎学力支援事業（西淀川個別復習塾）

塾等の事業者が公共施設等を活用して課外学習支援を実施できるようにすることで、区内の教育環境の充実を図り、生徒の学習習慣の定着、基礎学力の向上を目指す。